

平成 19 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 アクモス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 飯島秀幸
(JASDAQ・コード 6888)
問 合 せ 先 事業統括室室長 中川智章
電 話 番 号 03-3239-2377

平成 19 年 6 月期中間（連結・単独）業績予想との差異に関するお知らせ

平成 19 年 6 月期中間期（平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）の業績と、平成 18 年 8 月 11 日付の当社「平成 18 年 6 月期決算短信（連結）」及び「平成 18 年 6 月期個別財務諸表の概要」において発表いたしました業績予想との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成 19 年 6 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	1, 900	5	30
今回修正（B）	2, 004	28	55
増減額（B－A）	104	23	25
増減率	5.4%	466.6%	85.5%

(2) 修正理由

売上高については、ほぼ予測通りの推移となり、当初予想比 104 百万円増の 2,004 百万円（当初予想比 5.4% 増）となる見込みであります。主として、情報技術事業の茨城ソフトウェア開発株式会社の売上高が、当初予想から 80 百万円増加したことにより、連結売上高についても当初予測を上回る見込みとなりました。

経常利益は、上記の売上高の増加にともない茨城ソフトウェア開発株式会社において上半期経常黒字となったこと、また、「のれん」のうち、当中間連結会計期間中に子会社が取得した孫会社の「のれん」の償却開始を上半期中と見込んでおりましたが、当社の連結財務諸表作成においては、孫会社の業績が連結対象となる下半期から「のれん」の償却を行うことになったため、経常利益は、当初予想比 23 百万円増加の 28 百万円（当初予想比 466.6%）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、株式会社エルテックスの売却益を計上したことにより、55 百万円（当初予想比 26 百万円増加 当初予想比 85.5%）となる見込みであります。

なお、当中間連結会計期間中に子会社となった株式会社マックスサポート、子会社の取得した孫会社株式会社ジイズスタッフの業績につきましては、第 3 四半期からの連結対象となるため上記には含まれておりません。

(3) 通期（平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

なお、通期（連結）の業績予想につきましては、中間期の差異を踏まえ現在精査中につき、業績予想の変更が必要な場合には、改めてご報告させていただきます。

(4) ご参考：前期の実績（平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（平成 17 年 7 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）	1, 029	△25	21
通 期（平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）	3, 438	160	91

2. 平成 19 年 6 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	43	△13	30
今回修正（B）	43	△14	46
増減額（B－A）	0	△1	16
増減率	－	－	55.5%

(2) 修正理由

売上高については、当初予想との差異はなく、43 百万円となる見込みであります。また、経常損失は、ほぼ当初予想通りの 14 百万円（当初予想は 経常損失 13 百万円）となる見込みとなっております。

当期純利益につきましては、子会社株式売却益 63 百万円を特別利益に計上したことなどから、46 百万円（当初予想比 16 百万円の増加 55.5%増）となる見込みであります。

(3) 通期（平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）

なお、通期の業績予想につきましては現在精査中につき、業績予想の変更が必要な場合には、改めてご報告させていただきます。

(4) ご参考：前期の実績（平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（平成 17 年 7 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）	34	△24	67
通 期（平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）	77	△28	56

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以 上